

令和3年度

仙台市ガス事業会計決算の大要

仙台市ガス局

令和3年度仙台市ガス事業の概況と決算の概要

1 事業の概況

本市のガス事業は、ガス小売全面自由化や世界的な原料価格の高騰、さらには新型コロナウイルス感染症対応の長期化など社会情勢が変化を続ける中、需要家戸数とガス販売量の維持・拡大に取り組むほか、都市ガスを利用するお客さまに快適な暮らしを提供するため、製造・供給設備の適切な維持管理に取り組み、安全で安心なガス供給体制の確保に努めました。

事業実績につきましては、年度末の需要家戸数は345,307戸（都市ガス343,806戸、プロパンガス1,501戸）と、新築物件の獲得増加や他エネルギーへの離脱減少等により、前年度に比較して119戸の増となりましたが、ガスの販売量は301,187千 m^3 （都市ガス271,572千 m^3 、プロパンガス399千 m^3 、液化天然ガス29,216千 m^3 ）で、前年度と比較して0.4%の減となりました。

収支の状況につきましては、収入の面では、販売量は減少したものの、原料費調整による販売単価の上昇により、収入全体では前年度に比較して9.3%の増となりました。

一方、費用の面でも、原料価格の高騰等により売上原価が増加したため、費用全体としても前年度に比較し7.0%上昇し、この結果、差引43億9千7百万円の純利益（消費税及び地方消費税抜き）となりました。

設備投資につきましては、安定供給体制の維持・確保に向け、供給監視システムの改修や経年管の入替えを進めたことなどにより、総額29億9千5百万円の建設改良費を執行しました。

営業面につきましては、家庭用では、お客さま宅のほか住宅メーカーや不動産会社への訪問巡回によるガスの利便性PR等を実施し、新築やリフォーム時の都市ガス導入拡大と他燃料への離脱防止に努めました。また、業務用では、業種用途に応じた営業展開を図り、機器の新設や更新等の時期を捉えて、ガス空調等の導入提案を行うなど、新規需要の獲得や他燃料への離脱防止に加え、他燃料からの燃料転換にも取り組みました。

以上が決算の概況であります。引き続き、顧客ニーズを的確に捉え、お客さまサービスのさらなる向上と都市ガスの安定供給に努めるとともに、ガス事業を取り巻く環境変化にも柔軟に対応できるよう民営化の取り組みを進め、お客さまに選ばれ続け、地域社会の発展に貢献するエネルギー事業者を目指してまいります。

(1) 戸数と販売量

区 分	単 位	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	比 較	
				増減(△減)	比率(%)
需 要 家 戸 数					
一 般 ガ ス 事 業	戸	343,806	343,683	123	100.0
簡 易 ガ ス 事 業	〃	1,501	1,505	△ 4	99.7
計	〃	345,307	345,188	119	100.0
販 売 量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³)	千m ³	271,572	273,237	△ 1,665	99.4
附 帯 事 業 (45MJ/m ³ 換算)	〃	29,615	29,167	448	101.5
〔 簡 易 ガ ス 事 業 (100.4652MJ/m ³)	〃	399	425	△ 26	93.9
	〃	(179)	(190)	(△ 11)	
液 化 天 然 ガ ス 販 売 事 業	〃	29,216	28,742	474	101.6
	t	(24,159)	(23,767)	(392)	
計 (45MJ/m ³ 換算)	千m ³	301,187	302,404	△ 1,217	99.6
1 戸 1 ヶ 月 当 た り 使 用 量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³)	m ³	74.1	74.5	△ 0.4	99.5
簡 易 ガ ス 事 業 (100.4652MJ/m ³)	〃	11.4	11.9	△ 0.5	95.8

(2) 設 備 の 現 況

区 分	設 備 名	数 量 及 び 能 力		増 減 (△減)
		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	
一 般	気 化 装 置 O R V S M V 計	2基 60 t/時間	2基 60 t/時間	0 t/時間
		1基 30 〃	1基 30 〃	0 〃
		3基 90 〃	3基 90 〃	0 〃
ガ ス 事 業	ガ ス ホ ル ダ ー 球 形 計	7基 700,000 m ³	7基 700,000 m ³	0 m ³
		7基 700,000 〃	7基 700,000 〃	0 〃
導 管 事 業	導 管 本 支 管 供 給 管 計	4,439,140 m	4,434,141 m	4,999 m
		726,401 〃	721,829 〃	4,572 〃
		5,165,541 〃	5,155,970 〃	9,571 〃
附 帯 事 業	高 圧 装 置 導 管	16 基	16 基	0 基
		49,611 m	49,611 m	0 m

2 決算の概要

(1) 収益的収入及び支出

収 益 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 (△減)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△減)	計		
事業収益	33,847,636	3,985,165	37,832,801	37,751,541	△ 81,260
製品売上	29,836,444	3,574,000	33,410,444	33,793,236	382,792
ガス売上	29,836,444	3,574,000	33,410,444	33,793,236	382,792
営業雑益	1,635,327	△ 12,835	1,622,492	1,184,142	△ 438,350
受注工事収入	1,462,982	0	1,462,982	1,009,081	△ 453,901
器具販売収入	115,587	△ 12,835	102,752	119,001	16,249
その他営業雑収益	56,758	0	56,758	56,060	△ 698
附帯事業収益	1,568,829	414,000	1,982,829	1,988,170	5,341
プロパン販売収入	73,983	6,000	79,983	81,937	1,954
受託工事収入	4,695	0	4,695	443	△ 4,252
器具販売収入	669	0	669	18	△ 651
液化天然ガス卸供給収入	1,489,422	408,000	1,897,422	1,905,714	8,292
その他営業雑収益	60	0	60	58	△ 2
営業外収益	803,736	10,000	813,736	785,265	△ 28,471
受取利息及び配当金	10,980	9,000	19,980	20,610	630
他会計補助金	131,551	0	131,551	131,551	0
為替差益	80,000	0	80,000	24,706	△ 55,294
長期前受金戻入	486,379	0	486,379	493,705	7,326
雑収入	94,826	1,000	95,826	114,693	18,867
特別利益	3,300	0	3,300	728	△ 2,572
過年度損益修正益	3,300	0	3,300	728	△ 2,572

(注) 収益的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入は、当初 33,847,636千円を予定いたしました。ガス売上、液化天然ガス卸供給収入等の増収見込みと、器具販売収入の減収見込みとの差引きにより、3,985,165千円を増額補正し、最終予算額は 37,832,801千円となりました。

これに対する決算額は、ガス売上、雑収入等の増収と、受注工事収入、為替差益等の減収との差引きにより 37,751,541千円となり、予算額に対して 81,260千円の減収となりました。

収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					計	決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	予備費 支出額	流用増減額 (△減)	繰越額				
事業費	30,457,882	3,401,527	0	0	19,766	33,879,175	32,026,954	83,055	1,769,166
営業費用	26,243,314	3,191,668	0	△ 46,366	19,766	29,408,382	27,822,872	83,055	1,502,455
売上原価	13,894,281	3,917,000	0	△ 23,000	13,694	17,801,975	17,221,761	0	580,214
供給販売費	10,867,409	△ 574,357	0	△ 22,710	6,072	10,276,414	9,490,973	73,447	711,994
一般管理費	1,481,624	△ 150,975	0	△ 656	0	1,329,993	1,110,138	9,608	210,247
その他営業費用	1,629,204	△ 10,787	0	△ 378,000	0	1,240,417	1,106,628	0	133,789
受注工事費	1,522,130	0	0	△ 378,000	0	1,144,130	1,017,577	0	126,553
器具販売費	107,074	△ 10,787	0	0	0	96,287	89,051	0	7,236
附帯事業費	1,411,577	348,000	0	46,366	0	1,805,943	1,796,506	0	9,437
プロパン販売費	62,563	11,000	0	23,441	0	97,004	94,279	0	2,725
受託工事費	4,469	0	0	0	0	4,469	449	0	4,020
器具販売費	711	0	0	0	0	711	21	0	690
液化天然ガス卸供給費	1,343,834	337,000	0	22,925	0	1,703,759	1,701,757	0	2,002
営業外費用	1,121,697	△ 127,354	0	378,000	0	1,372,343	1,300,408	0	71,935
支払利息	368,822	△ 3,953	0	0	0	364,869	357,621	0	7,248
為替差損	80,000	0	0	△ 2,500	0	77,500	13,299	0	64,201
消費税及び地方消費税	669,820	△ 123,401	0	378,000	0	924,419	923,996	0	423
雑支出	3,055	0	0	2,500	0	5,555	5,492	0	63
特別損失	2,090	0	0	0	0	2,090	540	0	1,550
過年度損益修正損	2,090	0	0	0	0	2,090	540	0	1,550
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000

(注) 収益的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的支出は、当初 30,457,882千円を予定いたしましたでしたが、売上原価、液化天然ガス卸供給費等の増額見込みと、供給販売費、一般管理費等の減額見込みとの差引きにより、3,401,527千円を増額補正し、これに前年度繰越額 19,766千円を加え、最終予算額は 33,879,175千円となりました。

これに対する決算額は、売上原価、供給販売費、一般管理費等の減少により 32,026,954千円となり、供給販売費及び一般管理費 83,055千円を翌年度へ繰り越いたしましたので、不用額は 1,769,166千円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 (△減)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	繰越額	計		
資本的収入	3,472,890	0	790,500	4,263,390	1,125,977	△ 3,137,413
企業債	3,300,000	0	790,500	4,090,500	1,000,000	△ 3,090,500
工事負担金	172,890	0	0	172,890	125,977	△ 46,913

(注) 資本的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入は、当初 3,472,890千円を予定いたしましたが、これに前年度から繰り越した同意済企業債 790,500千円を加え、最終予算額は4,263,390千円となりました。

これに対する決算額は、1,125,977千円となり、予算額に対して 3,137,413千円の減収となりました。

資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当初予算額	補 正 予算額 (△減)	流 用 増減額 (△減)	繰 越 額	計			
資本的支出	7,752,968	0	0	790,594	8,543,562	6,561,871	1,108,560	873,131
建設改良費	4,185,717	0	0	790,594	4,976,311	2,994,621	1,108,560	873,130
製造設備	296,746	0	△ 2,810	0	293,936	288,501	0	5,435
供給設備	3,825,051	0	△ 3,592	790,594	4,612,053	2,642,154	1,108,560	861,339
業務設備	0	0	3,592	0	3,592	3,151	0	441
附帯事業設備	63,920	0	2,810	0	66,730	60,815	0	5,915
企業債償還金	3,567,251	0	0	0	3,567,251	3,567,250	0	1

(注) 資本的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出は、当初 7,752,968千円を予定いたしましたが、これに前年度から繰り越した建設改良費 790,594千円を加え、最終予算額は8,543,562千円となりました。

これに対する決算額は 6,561,871千円となり、建設改良費 1,108,560千円を翌年度へ繰り越しいたしましたので、不用額は 873,131千円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 5,435,894千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 240,251千円、過年度分損益勘定留保資金 3,692,610千円及び当年度分損益勘定留保資金 1,503,033千円で補てんいたしました。

(3) 損益計算書

比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部			
科目	令和3年度	令和2年度	増減(△減)	科目	令和3年度	令和2年度	増減(△減)
営業費用	26,808,726	24,716,142	2,092,584	製品売上	30,722,900	27,646,797	3,076,103
その他営業費用	1,011,379	1,496,804	△ 485,425	営業雑益	1,077,221	1,644,099	△ 566,878
附帯事業費	1,793,549	1,349,470	444,079	附帯事業収益	1,807,435	1,390,297	417,138
営業外費用	378,497	472,527	△ 94,030	営業外収益	781,174	784,930	△ 3,756
特別損失	502	1,662	△ 1,160	特別利益	684	6,832	△ 6,148
小計	29,992,653	28,036,605	1,956,048	小計	34,389,414	31,472,955	2,916,459
当年度純利益	4,396,761	3,436,350	960,411	当年度純損失	—	—	—
計	34,389,414	31,472,955	2,916,459	計	34,389,414	31,472,955	2,916,459

(注) 損益計算書は消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 34,389,414千円で、前年度に比べ 2,916,459千円の増収となりました。これは製品売上 3,076,103千円、液化天然ガス卸供給収入等の附帯事業収益 417,138千円の増加に対し、受注工事収入等の営業雑益 566,878千円、為替差益等の営業外収益 3,756千円、過年度損益修正益の特別利益 6,148千円の減少によるものです。

また、総費用は 29,992,653千円で、前年度に比べ 1,956,048千円の増加となりました。これは売上原価等の営業費用 2,092,584千円、液化天然ガス卸供給費等の附帯事業費 444,079千円の増加に対し、受注工事費等のその他営業費用 485,425千円、支払利息等の営業外費用 94,030千円、固定資産売却損等の特別損失 1,160千円の減少によるものです。

以上により、当年度は 4,396,761千円の純利益となりました。

(4) 剰余金計算書及び剰余金処分計算書(案)

資本剰余金については、当年度の増減はありませんでしたので、当年度末残高は 289,492千円となりました。

利益剰余金については、前年度未処理欠損金が 455,013千円でありましたが、当年度純利益 4,396,761千円を計上いたしましたので、当年度末処分利益剰余金は 3,941,748千円となりました。

当年度末処分利益剰余金 3,941,748千円については、全額を減債積立金に積み立ていたします。

(5) 貸借対照表

比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区 分 科 目	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減(△減)	区 分 科 目	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減(△減)
固 定 資 産	43,385,023	44,343,480	△ 958,457	固 定 負 債	28,992,802	31,004,023	△ 2,011,221
流 動 資 産	14,768,230	11,425,815	3,342,415	流 動 負 債	7,669,649	7,294,227	375,422
				繰 延 収 益	2,784,501	3,161,505	△ 377,004
				資 本 金	14,475,061	14,475,061	0
				剰 余 金	4,231,240	△ 165,521	4,396,761
計	58,153,253	55,769,295	2,383,958	計	58,153,253	55,769,295	2,383,958

(注) 貸借対照表は消費税及び地方消費税抜きの額である。

固定資産については、有形固定資産が、減価償却費の計上等により 921,073千円減少いたしました。

無形固定資産は、共同溝施設利用権が 37,384千円減少いたしました。これにより、固定資産は 958,457千円減少いたしました。

流動資産については、現金及び預金 2,216,481千円、売掛金 755,724千円、未収金 203,659千円、製品 10,730千円、原料 140,861千円、貯蔵品 10,211千円、その他流動資産 5,250千円の増加に対し、前払費用 501千円の減少により、差引き 3,342,415千円の増加となりました。

固定負債については、企業債 1,980,417千円、リース債務 28,435千円、引当金 2,369千円の減少により、差引き 2,011,221千円の減少となりました。

流動負債については、買掛金 968,262千円、前受金 40,551千円、預り金 4,569千円、引当金 40,623千円の増加に対し、企業債 586,834千円、リース債務 9,485千円、未払金 80,614千円、未払費用 1,650千円の減少により、差引き 375,422千円の増加となりました。

繰延収益については、長期前受金の減少により、377,004千円の減少となりました。

剰余金については、当年度純利益の計上により、4,396,761千円の増加となりました。

なお、令和3年度末における用地の内訳は、別表のとおりです。

以上が令和3年度仙台市ガス事業会計決算の概要であります。

用 地 内 訳 表

令和4年3月31日現在

区 分	所 在	面積(m ²)	帳簿価額(千円)	使用目的
工場用地	仙台市宮城野区港四丁目13-2 外1	97,119	2,292,808	港 工 場
	小 計	97,119	2,292,808	
事務所用地	仙台市宮城野区幸町五丁目301-1 外15	41,987	884,812	供 給 管 理 棟
	仙台市青葉区中央二丁目10-3	1,822	1,678,307	シ ョ ー ル ー ム
	仙台市太白区西中田五丁目16-11	1,146	44,372	西 中 田 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市泉区将監八丁目1-135 外1	1,231	11,212	将 監 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市宮城野区幸町三丁目101-5	10,990	1,676,049	幸 町 三 丁 目 倉 庫
	小 計	57,176	4,294,752	
施設用地	仙台市青葉区 小田原八丁目328-1 外150	17,738	817,258	整 圧 器 設 置 等
	多賀城市新田字下河原16-7 外16	1,039	23,621	ガ ス 管 橋 施 設
	仙台市太白区茂庭字生出前24-23 外3	5,595	71,371	茂 庭 供 給 所
	仙台市泉区根白石字銅谷堤下13 外7	3,972	51,165	泉 供 給 所
	多賀城市栄四丁目341-1 外5	46,697	223,217	多 賀 城 供 給 所
	小 計	75,041	1,186,632	
その他用地	仙台市宮城野区扇町六丁目4-5 外4	8,406	643,878	
	仙台市泉区根白石字銅谷明神下13-2 外5	8,143	121,261	
	名取市愛島小豆島字島東66 外2	20,041	23,158	
	仙台市青葉区上愛子字五ッ森12	15,760	5,341	
	富谷市ひより台一丁目42-1 外13	3,057	137,291	
	小 計	55,407	930,929	
計		284,743	8,705,121	